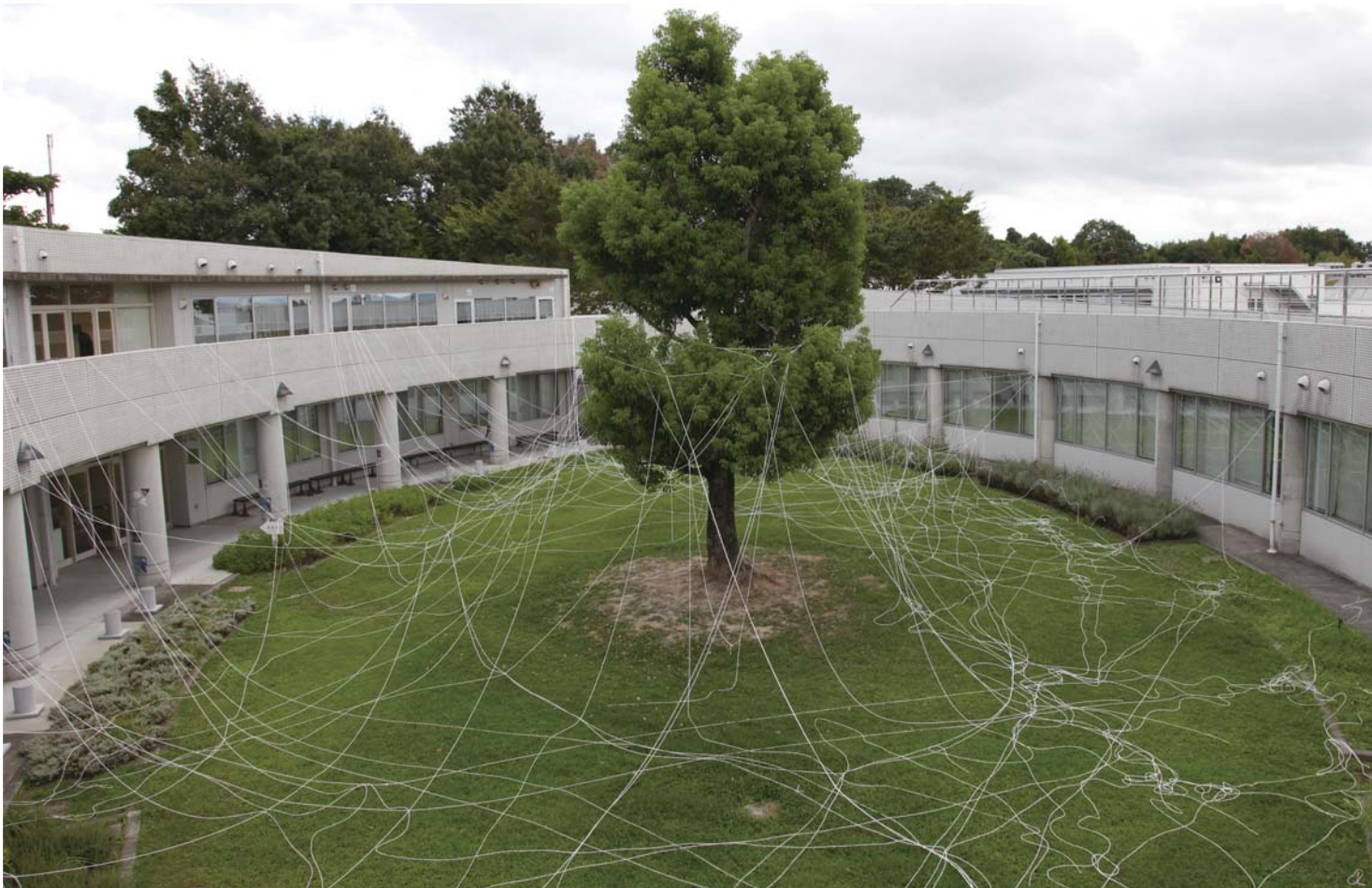


【 】

00

京都成安学園 学園報 創刊号



目次

- 01 ご挨拶
- 02 「自然学 | SHIZENGAKU」レポート
- 03 公開講座レポート／佐伯チズ・山折哲雄
- 04 キャン美・地連ニュース
- 05 成安造形大学開学20周年について
- 06 学園ニュース
- 07/08 教育後援会会報「湖西発」第23号
- 09 さざなみ会会報「さざなみ」創刊号
- 10 聚英会会報 創刊号
- 11/12 京の会会報「京の会だより」第65号
- 13 幼稚園・同窓会レポート&事務局からのお願い
- 14 学園報発刊にあたって&ご寄付のお願い

1 ご挨拶



皆様には、ますますお健やかに過ごしのことと存じます。平素は、学園の運営に対しまして、それぞれのお立場で格別のご理解とご協力を賜わって居りますことに厚くお礼申し上げます。

先ず最初のご報告として、学園報は、今回本号より京都成安学園に今日まで縁深い「成安造形短期大学同窓会京の会」「成安造形大学教育後援会」と、本年3月18日の設立総会をもって誕生した「京都成安学園役員・教職員同窓会聚英会」、同じく本年8月4日に発足した「成安造形大学教育後援会OBOG会さざなみ会」にもご参加いただき、本学園の外郭団体の各会報を合冊した形態での京都成安学園学園報として再出発をすることになりました。その内容としては、京都成安学園のニュースを大学の活動を中心に、学内イベントから【キャンパスが美術館】案内、地域連携事業の取り組みなど、教職員・学生の活動状況も楽しく紹介して行きたいと計画しています。

一方、各団体の会報のページでは、従来どおりそれぞれ

の会報としての役割を果たせるように構成をして参りますので、各団体とも以前と変わらず、大学事務局と連携をして頂く様をお願いします。

また、来年は、成安造形大学の当地開設20周年を迎える記念すべき年であり、その機会に「成安造形大学同窓会」も、この学園報への参加について検討いただいております。より一層内容の充実をはかって参りますので、ご期待とご協力の程お願い申し上げます。

私は最近、「経済は文化のしもべである」という言葉に出会いました。人間が生きるために、本当に必要な力を生み出すのは経済ではなく、芸術文化であり、芸術こそが人生の道標となり人々の心を豊かにする……との信念を主張し続けてその実践に挑戦された物語であります。

20数年前に、工場から排出される亜硫酸ガスの影響で、無残なげ山続きとなって居た瀬戸内の島を前に見て「美しい海と環境を取り戻し、世界の一流芸術家たちの表現の場とすることで、訪れる人々の価値観を変え、感性を磨くた

めの島にしたい」という理想を追って周囲の関係者を説得し続けて……瀬戸内国際芸術祭(2010年)を大成功に導いたリーダーたるベネッセコーポレーションの福武総一郎氏の体験談を、国際的建築家の安藤忠雄さんが紹介された著書で出会うことができました。最初は反対した島民たちの意識も変わり、ホテル・民宿・レストラン・喫茶店等の起業にも成功し、香川県直島(なおしま)の地中美術館を中心とした経済的活性化地帯の繁栄の現実に接する時、「経済は文化のしもべである」の真実性を納得いたしました。

私たち芸術教育に携わる者のロマンの源泉に触れた思い入(ひとしお)であります。

成安は8年先の創立100周年には「新しい名門となる」ことを目指して皆様と共に挑戦し続けて参りますので、ご支援の程よろしくお願い申し上げます、ご挨拶といたします。

平成24年9月
学校法人京都成安学園 理事長

近藤 功



「芸術」におけるテーマとして 「自然」を語る

2
-

「自然学 | SHIZENGA KU」レポート

滋賀県立近代美術館との連携事業で、今夏(H24.8.11-9.23)、「自然学 | SHIZENGA KU-来るべき美学のために-」という企画展が開催されました。この展覧会は成安造形大学とロンドン大学ゴールドスミスカレッジとの国際学術交流プロジェクトで取り組んでいるテーマ「自然学」をもとにして、成安造形大学の教員と卒業生、そしてロンドン大学の共同研究者を含む9組10名が日本画、洋画、彫刻、現代アート、メディアアートなど様々なジャンルで出品。芸術大学が今社会で問題となっている自然や環境をテーマに展示を行うという非常にチャレンジングな展覧会として開催されました。今回その「自然学」プロジェクトのリーダー、本学学長補佐で芸術学部教授の岡田修二先生にインタビューしました。

ロンドン大学ゴールドスミスカレッジとの学術交流プロジェクトの「自然学」というテーマはどのようにして生まれたのですか。

私自身がもともとフィールドワークを主としながら自然主義的な作品を手がけていたもので、私なりの自然観というものを持っていたということが、まず土台にありました。

昨年ロンドン大学との学術交流の話が来たときに、ヨーロッパの大学と日本の大学が交流するときに西洋、東洋に共通する大きなテーマの必要性を感じました。具体的には今の時代に世界規模で社会問題となっている環境あるいは自然を芸術において語るができないかと考えたのです。これは大きなチャレンジだったかもしれませんが、本学の教育理念が「芸術による社会への貢献」であり、芸術における研究が未来の社会に貢献するという理想を追って見ようと思いました。

その学術交流プロジェクトの一環として、展覧会

「自然学」(滋賀県立近代美術館との連携推進事業)が開催されましたがその成果についてお話しいただけますか。

環境や自然について考える企画は、他でも様々なかたちでイベント化されていますが、こと芸術分野に限って言えば残念ながら大衆的で表面的な催しになりがちです。今回は滋賀県立近代美術館の企画展として「自然学」というテーマで企画するわけです。このような企画を、芸術大学である我々が真剣に取り組んだということ自体が一つの成果であるような気がしています。

また、ロンドン大学ゴールドスミスカレッジや滋賀県立近代美術館との連携推進事業であることも重要で、この「自然学」という大きなテーマの展覧会を通じて、様々なジャンルを横断して教員や、アーティストとして活躍する卒業生が交流できたことも大きな成果であると考えています。

「自然学」というテーマを芸術大学が取りあげ展覧会を行うという一般的などのような展

示が行われるのか想像しにくいという声もありましたが、そのような疑問をあえて社会に投げかけることが一つの挑戦だとご理解いただければ幸いです。

大学にとってこのような国際学術交流プロジェクトは大変有意義であると思いますが、今後のこのような学術交流の展望をお聞かせいただけますか。

成安造形大学は少人数を活かして、教育熱心で面倒見の良い大学として地道な活動を続けており、一定の評価を得ていると自負していますが、同時に高等教育機関としてこれからの社会に貢献する研究を他大学はもちろん様々な機関と連携して行い、社会に還元する任務があると思っています。

イギリスとは開学時からド・モンフォート大学と、最近ではバース・スパ大学、そしてロンドン大学ゴールドスミスカレッジとの交流を深めてきましたが、もう少し他の地域にも関係をつくりたいと思っています。今年7月、中国の浙江省寧

波市にある寧波市第三中学の招きで同校を訪問し、「日本国・成安造形大学と中華人民共和国・寧波市第三中学との友好姉妹校提携に関する協定書」に調印し、同校との文化交流や同校からの留学生を積極的に受け入れようとしています。

日本は経済大国として戦後アジア経済をリードしてきました。経済と文化は表裏一体であり、文化においても同じことがいえると思います。しかし、その発展が公害等の弊害を生み、その反省から新たな経済のあり方を模索しています。21世紀は日本がアジアの中でどのような立場であらねばならないのかを考える時期にきていると思います。成安造形大学としても今後は積極的にアジア地域とも連携を密にし、グローバルに社会の動きを見ていかなければならないと考えています。





芸術文化研究所主催

客員教授就任記念講演「佐伯チズーMAKING自分をつくりつづけること」

佐伯チズ客員教授(成安女子高校出身)の就任記念講演会が平成24年6月10日(日)に開催されました。美肌師として全国的に知られる佐伯教授の講演会ということで、350名を超える申し込みが殺到し、2会場に分けて開催しました。

この日は【キャンパスが美術館】春の芸術月間の関連企画として、テーマを「MAKING 自分をつくりつづけること」と設定いただき、専門の「美容」だけにとどまらず、「自分をつくる」すなわち人生をいかによりよく生きるかという話をさせていただきました。

講座の中で、佐伯教授は「真の美容とは、一時的に化粧品などを使って、表面的に対処することではなく、食生活を見直すことや、マッサージなど、毎日繰り返すつづける事が大切である」ということと、「自分がヘッパーンに憧れて、すべてにおいて彼女に近づこうと努力を惜しまなかった」という懐かしい思い出話を例に挙げ、「常に前向きに理想を追いつづけることが、本当の意味で美しい自分をつくり

あげるのです」と熱く語られました。

1時間半の講座の間、佐伯教授はパワー全開。会場を動き回りながら、話をされ、受講者からの質問にもユーモアを交えて答えられるなど、和やかな雰囲気が進みました。

今回は客員教授就任の記念講演会ということでしたが、今後、佐伯教授には在学生に向けて「自分をつくる」というキーワードをもとにキャリア教育にも力を入れていただく予定です。



近江学研究所主催

特別公開講座 山折哲雄「私の見た近江」

平成24年6月9日(土)、特別公開講座「私の見た近江」と題して、日本を代表する宗教学者山折哲雄先生にご登壇いただき、山折先生の目を見た近江の魅力について語っていただきました。

山折先生は特に2つ近江の魅力を取り上げられました。一つは「琵琶湖と比叡山の関係がおもしろい」ということです。

言うまでもなく比叡山は日本仏教の母山といわれるように、最澄に始まり、法然、親鸞、日蓮、道元など鎌倉新仏教を興隆した高僧らが修行をしました。その厳しい修行の中で彼らを一層苦しめたのは琵琶湖がもたらす高い湿気という風土でした。しかし、この湿気は、和辻哲郎がかつて論じたように、モンスーンの影響を受ける日本の風土の一つであり、この高い湿気から涼感という中国や欧米にない感覚が生まれました。そのような湿気の高い空間を琵琶湖と比叡山がつくり出し、数々の哲人を生み出した事は特筆に値すると述べられました。

成安造形大学には芸術文化研究所と近江学研究所という2つの附属研究機関が設置されています。それぞれの研究所では独自の研究活動の他に、研究成果の発表と地域貢献を兼ねて年間20回近くの公開講座を開催しています。ここでは、平成24年に開催された主な講座2つを紹介したいと思います。

3 公開講座レポート

もう一つは、「蓮如上人と近江商人の関係が微妙で、興味がつきない」ということです。

山折先生は『人間蓮如』をご執筆の際に、蓮如が歩いた近江の地をたどったことを懐かしく思い出しますと話されながら、蓮如は難しい教義ではなく、一般民衆に解りやすい御文章(ごぶんしょう)を書きながら布教し、浄土真宗を近江から出発して最終的に大教団につくりあげた。その中で大事なことは、浄土真宗が徹底的に権力や武力に抵抗した反社会的な宗教ではなく、根底には民衆のため世の中のためになると言う救いの宗教であったことであると述べられ、そのような真宗の考え方が近江商人の「三方よし」の中の「世間よし」につながったのではないかと指摘されました。

近江には比叡山と琵琶湖があり、まさにここが日本文化の根源を形成したと言えるほど力強く近江の魅力を語っていただき、定員を大きく上回る多くの参加者から大きな拍手がおこりました。



【キャンパスが美術館】



堀尾貞治ワークショップ「新聞紙と布袋」成安造形大学体育館にて(2012年6月)



ワークショップ「インテリアデザイナー野井成正の表現-外から内へ/内から外へ」
カフェテリア「穂」テラスにて(2012年6月)

毎年春と秋に成安造形大学【キャンパスが美術館】が芸術月間として企画運営する総合芸術祭「セイアンアーツ・アテンション」。期間内は【キャンパスが美術館】の12ギャラリーすべてで展覧会を開催し、国内外で活躍するアーティストやデザイナーの展覧会を行います。出品作家には本学の教員、卒業生、在校生も多く含み、本学の学びや特色を感じていただける機会にもなっています。

VOL.3となる今回は「CHI-KEI—風土のかたち、ながめ、かかわり」をテーマに、10月21日(日)から11月25日(日)まで開催いたします。飯川雄大、イシヤマアズサ、奥田博士、椎原保、地蔵プロジェクト、てらいまき、PULSE、ブライアン・ウィリアムズ、松本結樹ほか、写真、絵画、イン

スタレーション、陶芸、イラストなど、多彩なフィールドで活躍する作家たちが出品いたします。「CHI-KEI」は、「地形」のほかに「地-景」(土地の景色、ありさま、それを眺めること)、「地-係」(土地との関係、土地と関わること)など、その音感から、作り手や鑑賞者自身がさまざまな字をあてはめてイメージを膨らませることができず。自分自身の生活環境について見直しざるを得ない機会が多い現代において、アートを通してわたしたちの風土が持つ豊かな表情を再発見するきっかけになればと考えています。

「CHI-KEI—風土のかたち、ながめ、かかわり」
特設ウェブサイト <http://chi-kei.tumblr.com>

【地域連携推進センター】



今年も大津祭に登場!ちま吉くん!

2007年に学生(当時)が考案した「大津祭曳山連盟公式キャラクター ちま吉」も大津の街の顔なじみになりました。大津祭の当日、学生と教員が中心となって開発した、ちま吉グッズの販売も毎年恒例となり、地域の風物詩となっています。

今年の大津祭は10月6日(土)宵宮、10月7日(日)本祭です。ちま吉グッズはJR大津駅から琵琶湖に向かって徒歩5分の左手の特設会場「ちま吉センター」にて販売しています。大学祭と日程が重なっていますが、ちま吉くんがいる湖国三大祭りの大津祭りに是非お越しください。大津祭とちま吉の詳細は「NPO法人大津曳山連盟公式サイト<http://www.otsu-matsuri.jp/home/>」「ちま吉ウェブサイト<http://www.chimakichi.com>」をご覧ください。



小沢剛 ホワイトアウト - 大宰府・観世音寺 - 2008年

本学美術領域客員教授小沢剛氏と総本山三井寺がコラボ展覧会開催

本学美術領域の客員教授で現代美術作家として国際的に活躍されている小沢剛教授がプロジェクト特別実習の一環で天台寺門宗総本山三井寺の協力を受け、「秋は、三井寺、アート来迎。」タイムトラベルのゼミの時間ですよ!と題された展覧会を三井寺境内の釈迦堂・一切経蔵(ともに国の重要文化財)で開催されます。[会期=11月17日(土)-11月25日(日)]

小沢教授が2008年に太宰府で発表された作品「ホワイトアウト」を三井寺という舞台上で展開されます。ホワイトアウトとは、視界全体が真っ白になって天地の見分けがなくなり、視界の感覚が失われる現象のこと。小沢教授が「ホワイトアウトのように、もともと見えるものを消していくことで、更に別の美しさや神秘性が引き出されるのではないか」と言われるように、白で覆われた空間が宗教空間に出現します。

会期最終日には小沢教授の講演会も予定されています。芸術の秋、話題のアートイベントです。是非ともご高覧ください。詳しくは成安造形大学WEBサイトをご確認ください。

4 キャン美・地連ニュース

地域に開かれた大学を積極的に打ち出す成安造形大学【キャンパスが美術館】と地域連携推進センターの最新情報をお伝えします。

テーマの紹介

人は必ずいくつかの帰る場所(=home)を胸に抱いています。

その最小単位の「家」以外にも、人生を生きるうえで大切なものを学び、忘れられない思い出や友情を育んだ「学び舎」も、その人にとって、なくてはならない「home」であると思います。

本学に学ぶ学生や多くの卒業生、教育・研究活動を行っている教職員にとっても、成安造形大学はそれぞれの「home」であるはずです。

そこは、自分が育った場所であり、帰る場所すなわち故郷でもあります。20周年を迎えることを機に、開学から現在までの中で、一度はこの場に集い、共に学び、楽しみ、悩んだ多くの人たちが、今ここで成安を見つめなおしていただける機会になることを願い、「home」をテーマとしました。

記念企画について

20周年の基幹事業として、京都成安学園創立90周年を記念に誕生した【キャンパスが美術館】(学内に点在する12ヶ所のギャラリーを巡る回遊式美術館)で春と秋に開催する芸術月間(芸術祭)を20周年記念企画として開催します。

そして、春の芸術月間の初日である平成25年5月18日(土)に、「ホームカミングデー」として、本学同窓会や京の会、教育後援会など外郭団体の総会の開催と、各団体も参加する形で芸術月間のオープニングパーティーの実施を予定しています。

また、秋の芸術月間の初日である平成25年10月19日(土)には、20周年の記念式典を行い、その後に開学20周年記念レセプションを開催する予定です。

ロゴマークの作成

成安造形大学のキャラクターアイテムである【】(空)と、20周年のテーマである「home」をコンセプトとして記念ロゴマークを作成しました。

【】は無限の可能性を秘めた学び舎、すなわち成安造形大学です。ここに集う学生たちは、やがて【】から広がる道を進んで成安から旅立っていきます。道は決して真っ直ぐではありません。左や右にくねくねと曲がりながら、それぞれにしかない多様な道を通っていくはずです。そして、この道は、多くのOG・OBや教職員にとっても存在しています。

私たちは、ここから巣立っていく学生たちが、大いなる可能性を秘めた道を歩んで欲しいと願っています。そして、【】につながる、それぞれの道を通して、ふいに懐かしく思い出した時に、またここに帰ってきて欲しいと願っています。

20年の節目の年、成安造形大学はこの20年を振り返り、次に進むべき未来を見つめます。

5 成安造形大学 開学20周年について

平成25年に成安造形大学は開学20周年を迎えます。

その記念の年を迎えるにあたって、テーマを設定し、成安造形大学にいる人、卒業した人たちが交流し、成安を見つめ直したいと思っています。



テーマ

home

成安造形大学

平成23年度卒業式

平成23年度の成安造形大学卒業証書・学位記授与式を、滋賀県立近代美術館の秋山茂樹館長をはじめ多くのご来賓のご臨席のもと、平成24年3月9日(金)12時30分から、琵琶湖ホテルにて挙行いたしました。第16期生196名に卒業証書及び学位記が、研究生28名に修了証明書が、学長から一人ひとりに授与されました。また、式後、同ホテルにて卒業記念パーティが開催されました。



平成24年度入学式

平成24年度の成安造形大学入学式を、平成24年4月1日(日)午後1時から、成安体育館にて挙行しました。学長より、新入生208名、3年次編入学生7名、研究生13名の入学が許可され、新しい学生生活のスタートを切りました。



幼稚園

平成23年度卒園式

平成23年度の成安幼稚園保育証書授与式を、聚英会の花山智久会長をはじめ多くのご来賓のご臨席のもと、平成24年3月21日(水)午前10時から、成安幼稚園遊戯棟(ホール)にて挙行いたしました。上野園長より、第37期園児75名が保育証書を授与されました。その後、卒園児が最後となる合唱を行うなど、よき思い出となる卒園式となりました。



平成24年度入園式

平成24年度の成安幼稚園入園式を、平成24年4月11日(水)午前10時から、成安幼稚園遊戯棟(ホール)にて挙行しました。3歳児52名、4歳児4名、5歳児1名、計57名の新入園児が入園を許可され、担任との初顔合わせとなりました。保護者の方々もまた、子ども達の新たなスタートに緊張気味でした。



第20回 成安造形大学大学祭 響心祭

平成24年10月6日(土)・7日(日)12:00-20:00

今年も成安造形大学大学祭「響心祭」を10月6日、7日に行う事になりました。今年のテーマは、「はっちゃケラッチョ!!」です。大学祭実行委員会は、例年以上に活気のある大学祭にするために、日々努力しております。学生と来場者が一緒にはっちゃけられる露店、ステージ、イベントなどが盛り沢山!「響心祭」にお越しいただいた方々に「来てよかった」「楽しかった」と、思ってもらえたら光栄です。多くの方々の御参加、御来場を心よりお待ちしております。

成安造形大学学生会執行部

会長 武田 貴大



当日は、お車でのご来場はご遠慮下さい。
JR湖西線「おごと温泉」駅からスクールバス(無料)をご利用下さい。

成安造形大学教育後援会からのお知らせ

第4回教育懇談会を下記のとおり開催いたします。
会員の皆様には、後日、詳細をお知らせいたしますので、どうぞご参加下さい。
第4回 教育懇談会 平成25年2月3日(日)
会場=キャンパスプラザ京都(京都駅前)

6

学園ニュース

イベントカレンダー

10月

- 01日(月) 幼稚園平成25年度入園願書受付開始
- 06日(土) 教育後援会 第3回教育懇談会(本学会場)
- 06日(土)~7日(日) 響心祭・ミニオープンキャンパス
- 10日(水) 幼稚園運動会(3歳児)
- 16日(火) 幼稚園運動会(4・5歳児)
- 17日(水) 幼稚園平成25年度入園児面接
- 21日(日)~11月25日(日) 秋の芸術月間
「CHI-KEI」風土のかたち、ながめ、かかわり

11月

- 09日(金) 幼稚園園外保育(大学へ)
- 17日(土)~11月25日(日) 小沢剛ホワイトアウト大芸術展
(総本山三井寺)

12月

- 08日(土) 平成24年度さざなみ会研修旅行、
さざなみ会設立記念懇親会
- 21日(金) 幼稚園2学期終業式

01月

- 08日(火) 幼稚園3学期始業式
- 30日(水)~2月3日(日) 卒業制作展・進級制作展(京都市美術館)

02月

- 03日(日) 教育後援会 第4回教育懇談会
(京都会場=キャンパスプラザ京都)
- 20日(水)~24日(日) 進級制作展(大津市歴史博物館)

03月

- 08日(金) 大学卒業証書・学位記授与式(琵琶湖ホテル)
- 21日(木) 幼稚園卒園式
- 22日(金) 幼稚園3学期修了式

04月

- 01日(月) 平成25年度 大学入学式
- 11日(木) 平成25年度 幼稚園入園式

7

成安造形大学教育後援会 会報

「湖西発」第23号

大学のホームページで牛尾学長が「芸術は豊かな文化創出の担い手」であり「今の社会にこそ芸術の持つ力が期待されている」と述べられています。私の息子が本学に入学した頃、「不景気な時こそ芸術の力が生かされて消費が促進されるように生かされなアカんの、社会ではそれらが最初に削られるからな」と私に言ったことがありました。学長のお言葉は、「文化の本質」とはどうあるものなのかを述べられたもっと深い言葉とは思いますが、いわゆる「社会の常識」に毒されていた私は、この息子の発言に「心が恥ずかしい」思いをしたのを覚えています。本学に子供を学ばせている私たちこそ、学長の述べておられる文化・芸術の理解者とならなければならないと思います。その一助となるように、教育後援会を通じて学生のみなさんを援助していきますと同時に、私たち自身も学校が勧められる様々な事に参加していきたいと思えます。

成安造形大学教育後援会

会長 宮武 昌三



平成24年度総会報告

平成24年度 成安造形大学教育後援会総会を、平成24年5月27日(日)午前11時から、60名を超える会員が出席して、成安造形大学聚英ホールにて開催しました。大学からは、牛尾郁夫学長をはじめ6名の教職員が出席、平成23年事業報告など5つの議案が審議され、いずれも承認されました。詳細につきましては、別刷版「成安造形大学教育後援会 平成24年度総会報告」をご覧ください。

また、報告事項として、平成23年度会長の中村俊策氏を顧問として委嘱すること、本会のOBOGによるOBOG会「さざなみ会」が設立されることについての報告がありました。

平成24年度総会議案

- 第1号議案 平成23年度事業報告案
- 第2号議案 平成23年度決算報告案
- 第3号議案 平成24年度役員・監事候補者選出案
- 第4号議案 平成24年度事業計画案
- 第5号議案 平成24年度予算案
- 報告事項1 顧問の委嘱について
- 報告事項2 成安造形大学教育後援会OBOG会 さざなみ会の設立について



さざなみ会との連携と支援について

本会会員の方のOBOG会「さざなみ会」が、平成24年8月4日に設立、発足されました。本会では、さざなみ会と連携して様々な事業を進めるとともに、同会に対して300,000円の後援費を予算計上しています。同会の詳細につきましては、さざなみ会会報「さざなみ」のページ《P10》を参照して下さい。

なお、さざなみ会が発足したことにより、本会の会員の方で、お子様のご卒業により本会の会員でなくなる方につきましては、そのまま、さざなみ会の会員(会費無料)に移行することになります。

平成23年度事業から

「楽波会(さざなみかい)研修旅行レポート」

平成23年度の楽波会研修旅行は、平成23年11月27日(日)に、成安造形大学附属近江学研究所の加藤賢治研究員を講師に迎えて、「湖西路をゆく〜高島市針江(はりえ)を訪ねて〜」というテーマで開催しました。会員、ならびに会員OBOG合わせて25名が参加しました。

行程＝堅田駅－鵜川四十八体仏－乙女ヶ池公園－大溝城跡－泰山寺ソラノネ紀伊國屋(昼食)－針江生水の郷(かばた)－中江藤樹書院跡－道の駅藤樹の里あどがわ－安曇川駅－堅田駅

この研修旅行は、平成24年度からは「さざなみ会」の事業として開催されます。パンフレットを同封いたしておりますので、会員の皆様方にも是非ともご参加下さいませよう、ご案内いたします。

平成23年度事業から
「保護者対象就職セミナー」

平成23年度から、新規事業として「保護者対象就職セミナー」を8月と1月の計2回開催しました。8月は第2回教育懇談会に合わせて神戸市で開催、卒業生2名から「就職活動についての体験談」をお聞きました。また、1月は第4回教育懇談会に合わせて京都市で開催、内定を獲得した現役の4年生(当時)から「就職活動を振り返って」というテーマでお話を聞きました。

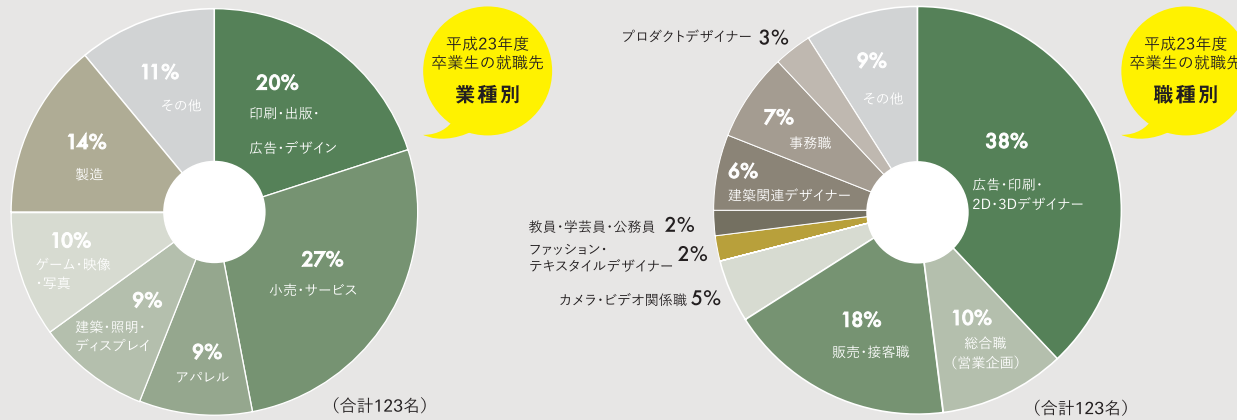


キャリアサポートセンターからのレポート

昨年度は、開学以来最高の内定率となりましたが、依然厳しい状況が続いております。本学では、1年生から将来の進路に対する意識づけを行い、3年生の実践的な就職対策までを「キャリアデザイン特講」とし、正規科目として開講しております。また、筆記対策やポートフォリオ作成などの「演習」やメイク、グループ面接などの「就活サポート講座」も実施してまいりました(詳しくは、春にお届けいたしましたキャリアデザインガイドをご覧ください)。また、授業以外でも随時、履歴書・エントリーシートの添削や模擬面接なども行っております。

これらの受講やキャリアサポートセンターの積極的な利用のはたらきかけを、ご家庭でもご指導いただきますよう、お願い申し上げます。

就職進路状況



平成23年度卒業生の主な進路

主な就職先=カヤック、テー・オー・ダブリュー、視覚デザイン研究所、不二印刷、朝日印刷、レベルファイブ、トーセ、デジタルエッグ、ナイスクラブ、エーキャンピー・インターナショナル、ノムラテラー、黒壁、笹屋伊織、カミオジャパン、クーリア、市場、ハマナカ、吉忠マネキン、ジェネレーション・エックス、横山建築工房、有設計、グローブエナジー、京都たつた舞台、大津市歴史博物館、彦根総合高等学校

主な進学先=東北芸術工科大学 **その他の進路**=成安造形大学研究生9名

(単位=人)

学部・学科	デザイン科	造形美術科	造形学部計	全国大学平均	全国芸術大学平均
卒業生数	166	33	199		
希望者数	124	24	148		
内定者数	99	24	123		
就職率 (対就職希望者)	23年度	80%	100%	83%	
	22年度	81%	86%	82%	
就職率 (対卒業生)	23年度	60%	73%	62%	64%
	22年度	50%	38%	48%	45%
進学	希望者数	6	4	10	
学	決定者数	6	4	10	
作家志望	5	1	6		
その他	31	4	35		

成安造形大学教育後援会OB OG会

さざなみ会 会報

「さざなみ」創刊号

成安造形大学が「芸術による社会への貢献」を掲げ、滋賀県内唯一の芸術大学として第20期生を迎えられました。

開学以来、今日まで、大学の教育研究と学生の諸活動への支援を目的として、成安造形大学教育後援会がありました。しかし、卒業と同時に退会されてきました。子供達が学んだこの大学が、すばらしい大学として発展することを側面からお手伝いしたいと考え、この度後援会「OB・OG」で、新しく「さざなみ会」を結成しました。教育後援会で作ったご縁を横系に、歴史を縦系にして紡ぎ直し、会報「さざなみ」で近況報告して参ります。ご協力よろしくお願い致します。

成安造形大学教育後援会OB OG会 さざなみ会
会長 堂本 道信



成安造形大学教育後援会OB OG会 さざなみ会設立趣意書

成安造形大学教育後援会は、成安造形大学が開学した平成5年11月に、大学の教育研究と学生の諸活動への支援を目的として発足いたしました。以来、今日に至るまで、多くの会員がご子弟の入学とともに入会され、そして、卒業とともに退会されています。

成安造形大学は、滋賀県内唯一の芸術大学として、芸術が社会にどのようなかたちで貢献できるかを常に研究し、基本理念(教育理念)「芸術による社会への貢献」を掲げ、地域に開かれた大学を目指した活動を推進し、本年、第20期生を迎えられました。

私たちは、子供たちが成安造形大学に入学したことを機に生まれたこのご縁をもう一度紡ぎ直し、再び芸術や文化との関わりを強めることで私たちの人生を豊かにしたいと考えています。

同時に、子供たちが入学し、制作活動に励み、そして卒業していったこの大学が、素晴らしい大学として発展することを側面からお手伝いしたいと考えています。

こうした理念に立ち、子供たちの卒業後も引き続き、相互の親睦と交流を深めること、大学と連携して教育後援会のOB OGの皆様に対して生涯学習の機会を提供すること、ならびに大学と在学を支援することを目的として、OB OG会としての「さざなみ会」を設立いたします。

平成24年8月4日

設立発起人

大家 源代 岡崎 義人 奥沢 康正
坂井 昇 杉村 吉信 堂本 道信
中村 俊策 山岡 正幸 山本 昌和

さざなみ会設立発起人会のご報告

成安造形大学教育後援会OB OG会さざなみ会の設立発起人会を、設立発起人9名による呼びかけで、平成24年8月4日(土)午後1時30分から成安造形大学において開催いたしました。

設立発起人会においては、坂井昇氏(平成17年度教育後援会会長)を設立発起人代表に選出した後、坂井代表から設立趣意の説明と設立宣言が読み上げられ、設立発起人全員の賛同によりさざなみ会の設立が承認され、正式に発足しました。その後、設立発起人提案の会則、役員、運営・活動方針が審議され、会則は原案どおり、また、運営・活動方針は一部修正の上、承認されました。なお、役員については、堂本道信氏(平成16年度同会長)を会長に選出したほか、すべての役員が決定いたしました。



さざなみ会研修旅行について

例年、教育後援会が主催してきました楽波会(さざなみかい)の研修旅行は、平成24年度からは、さざなみ会の主催で開催いたします。今年度は、平成24年12月8日(土)に「師走に巡る湖東の古寺」というテーマで、臨濟宗永源寺派の総本山永源寺や近江西国三十三ヵ所霊場の石塔寺などをバスで巡ります。また、解散後、JR「大津駅」近辺で、さざなみ会設立記念懇親会を開催いたします。どうぞ、お気軽にご参加下さい。詳細は、同封のパンフレットをご覧ください。

※さざなみ会設立記念懇親会のお申し込みは、さざなみ会会員の方に限定させていただきます。

学校施設の利用などについて

付属図書館の利用

さざなみ会会員の方は、研究・調査・学修が目的であれば、成安造形大学附属図書館を利用することができます。詳細につきましては、大学のwebサイトまたは成安造形大学附属図書館【077-574-2111(大学代表)】まで。
※学外の方の利用には、登録手続きが必要です。最初に来館される際に、住所記載の身分証明書(運転免許証など)をお持ち下さい。

近江学フォーラム入会金の優遇制度

成安造形大学附属近江学研究所が運営する近江学フォーラム。さざなみ会会員の方には、通常5,000円の年会費が3,000円となる優遇制度が適用されます。滋賀県(近江)の持つ豊かな自然と歴史、文化に対し、興味・関心のある方、ご自身の持っている知識や見聞を深めたい、広げたいとお考えの方は、この機会に是非、会員にお申し込み下さい。詳細は、大学のwebサイトまたは成安造形大学附属近江学研究所【077-574-2118(直通)】まで。

京都成安学園役員・教職員同窓会

聚英会 会報 創刊号

本年4月に、京都成安学園役員・教職員同窓会である聚英会が発足いたしました。学園は、創立から今年で92年目を迎え、その間の学園関係者のOB・OGは、多数にのぼります。そこで、多くの関係者がこの会に会員として参加していただき、定期総会や懇親会を通して親睦をはかるとともに、会報などのツールを通して学園からの情報等を共有していただき、OB・OGとして学園の発展を見守り、側面からの支援が出来ればと考えております。また、学園や聚英会からの発信だけではなく、会員諸氏からの情報もお寄せいただくことを待望しております。今回の聚英会会報創刊号の誌面をお借りして「聚英会」発足のご報告と、関係者各位にご協力をいただくことをお願いして、挨拶に代えさせていただきます。

京都成安学園役員・教職員同窓会 聚英会
会長 花山 智久



京都成安学園役員・教職員同窓会 聚英会設立趣意書

京都成安学園は、大正9年、学祖である瀬尾チカ先生が成安裁縫学校設立を京都府知事から認可された日を発祥としています。「本校ハ時代ノ進歩ニ伴ヒ最モ新シキ和洋裁縫及ビ実用的手芸ノ一般ヲ教授シ併セテ自活学習ノ便ヲ与ヘ兼ネテ婦徳涵養ニ資スルヲ以テ目的トス」と当時の校則にうたわれているように、女性が自活できる能力を身につけさせることが学校設立の目的であり、女性の社会的・経済的地位を向上させようとする先進的な取り組みは、瀬尾チカ先生の体験に裏付けられた確固たる信念に基づくものであります。その後、幾多の試練と困難を乗り越え、平成22年に創立90周年の節目の年を通過した学園は、学祖の信念を精神的支柱として、その歴史を刻み続けています。

京都成安学園は、その創立以来、設立した幼稚園から大学までのすべての学校に「成安」という名称を冠してきました。学祖・瀬尾チカ先生が名付けた「成安」という言葉は、まさに建学の精神であります。この「成安」という素晴らしい精神を未来につないでいくことは、「成安」の名のもとに巣立っていった数多の卒業生、そして学園に関わっていただいた多くの方々など、全ての

「成安人」に課せられた使命であると考えます。

京都成安学園は、創立以来4万人余の卒業生を社会に輩出してきました。その多くは、職業人として、あるいは良き家庭人として社会の様々な分野で不可欠な存在として、その輝きを放ち続けています。こうした卒業生の活躍と教職員の努力が、今日の学園を築きあげてきたものと考えます。私たちは、学園の役員・教職員のOB・OGとして、学園が社会的に確固たる地位を占めることを願ってやみません。

このたび、私たちは再び「成安」の名の下に集い、互いが交流を深める場を創造するとともに、私たち「成安人」に課せられたこの崇高な使命を果たすため、役員・教職員のOB・OG会である「聚英会」を設立することいたしました。

平成24年3月18日

設立発起人

有馬 忠広 伊藤 憲太郎 植田 耕治 大原 雄寛
草木 輝子 小林 佳代 坂田 光雄 四方 功一
研 義治 花山 智久 人長 信昭 広瀬 芳子
藤野 一郎 星野 高志郎 前島 習二 溝辺 行雄

設立総会報告

平成24年3月18日(日)午前11時から、成安造形大学聚英ホールにて、京都成安学園役員・教職員OB・OG会設立発起人16名による呼びかけで、「京都成安学園役員・教職員同窓会 聚英会」の設立総会を開催しました。総会には、役員・教職員のOB・OG約40名、近藤功理事長をはじめとご来賓や多くの教職員が出席されました。総会においては、設立発起人代表の花山智久氏により設立趣意の説明と設立宣言が読み

上げられ、拍手により聚英会の設立が承認され、正式に発足しました。その後、設立発起人提案の会則、役員、活動・運営方針が審議され、原案どおり承認されました。

総会終了後、会場を大学内のカフェテリアに移して設立記念レセプションを開催し、会員どうしが懐かしい話に花を咲かせたり、現役の役員・教職員と交流したりと、大変有意義な時間となりました。



花山智久会長の就任挨拶



瀬尾雅也 名誉顧問

「京の会だより」第65号

会員の皆様方には、ご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。日頃から会の活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年は3月11日の東日本大震災、原発事故、そして台風による集中豪雨等100年に一度といわれる激動の年でした。被災された方に、心から哀悼の意を表します。被災地には、日本中、世界中から支援の手がさしのべられ、絆や思いやりの心の大切さを実感しました。

私達は今、混沌とした先の見通しの見えづらい時代を生きています。少子高齢化やエネルギー問題への対応、地球温暖化対策など次代を担う若者たちに、絆の大切さや思いやりの心を伝えていかなければなりません。女性の力を社会に生かし母校に生かすことは、これからの社会を支え活性化していくことに繋がるものと思います。

「キャンパスが美術館」での公募展では、京の会として皆様のご支援、ご協力によって約半月間にわたり会員の展覧会ができました。また、学園祭のバザー参加も恒例になりました。会員の皆様方のご支援とご協力のおかげであると感謝いたしております。今後とも皆様方のお力添えを賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

成安造形短期大学同窓会 京の会

会長 石神 美智子



バザーのお礼とご協力のお願い

京の会では、今年度も成安造形大学の響心祭(大学祭)にバザーで参加いたします。会員、教職員の皆様には、毎年、多くの物品をご提供いただきまして誠にありがとうございます。今年度の響心祭は、平成24年10月6日(土)、7日(日)の2日間開催され、両日とも出店いたします。また、今年度は、初めての試みとして模擬店も出店いたします。会員各位におかれましては、今年度も引き続きましてバザーへのご協力をお願いいたしますとともに、響心祭にぜひ足をお運び下さいますよう、ご案内申し上げます。

なお、平成23年度のパザーにおきましては、多くの会員、教職員の皆様からたくさんの物品をお届けいただきました。誠にありがとうございました。売り上げは、35,090円でした。

募集品目=新品未使用の家庭用雑貨、生活用品、小物など(使用期限切れのもの、衣類、食品は不可)
送付先=〒520-0248 滋賀県大津市仰木の里東4-3-1 成安造形大学内 京の会事務局宛
受付締切=平成24年10月5日(金)必着

※送料は、出品者にてご負担下さい。なお、当日の持ち込みも歓迎いたします。



同窓会京の会への寄付のお礼とお願い

成安造形短期大学は、大阪成蹊学園への設置者変更とその後の四年制大学への改組転換・廃止により、新規会員の入会が途絶え、新規の会費収入がなくなっています。京の会の運営は、会員の皆様からのご寄付と京都成安学園のご協力によって維持されております。毎年、多くの皆様からご寄付をいただき、平成23年度は102,000円のご寄付がありました。心から、御礼申し上げます。

京の会では、引き続き、会員各位にご寄付をお願いいたしております。京の会の維持・発展のために、会員の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。寄付金についてのお問い合わせは、京の会事務局までお願いいたします。

京の会への寄付金のお振り込み先郵便振替口座

加入者名= 成安造形短期大学同窓会京の会

口座番号= 00900-9-101104

※恐れ入りますが、最寄りの郵便局からお振り込み下さい。

大阪成蹊大学芸術学部が大阪に移転

平成24年4月、大阪成蹊大学芸術学部が、京都府長岡京市から大阪府東淀川区相川に移転しました。長岡京キャンパスは、大阪成蹊大学芸術学部の前身である成安造形短期大学(当時は成安女子短期大学)が、京都市上京区の相国寺校地から移転した昭和62年以来キャンパスを置いており、多くの卒業生がここから巣立っていきました。平成23年10月には、長岡京キャンパスで最後の芸術学部大学祭が開催され、卒業生や旧教職員が多く訪れ、短期大学当時の面影を多く残す長岡京キャンパスに別れを告げていました。



第1回 京の会公募展

初めての試みである京の会公募展を、平成23年12月3日(土)から17日(土)までの会期で、成安造形大学【キャンパスが美術館】ライトギャラリーにて開催いたしました。公募展には、7名の会員が出品され、また、会期中には158名の入場者がありました。初日には、会場内で出品者などによるオープニングパーティを行いました。



第2回 京の会公募展のご案内

京の会では、成安造形大学【キャンパスが美術館】にて、第2回京の会公募展を下記のとおり開催いたします。

会員の皆様の出展を心よりお待ちしております。

会期=平成25年1月18日(金)~27日(日) 会期中無休 時間=12:00~18:00

会場=成安造形大学【キャンパスが美術館】ライトギャラリー

公募要項

- 公募作品 = 油彩、水彩、版画、立体、テキスタイルなど(作品のジャンルは不問)
- サイズ等 = 額装など展示できる状態にして下さい。平面作品は、100号(1620×1303)まで。立体作品は、1平方メートルまで。これ以外の作品サイズでの出品をご希望の方は、京の会事務局までご相談下さい。
- 出品点数 = 原則として1人1点。組作品や小品は3点まで。
- 出品料 = 無料。搬入・搬出・展示は、出品者にてお願いいたします(大学のスタッフがサポートします)。

- 応募方法 = 電話、FAX、郵便、Eメールにて、京の会事務局宛に「応募用紙」をご請求の上、必要事項を記入して、平成24年11月26日(月)必着でご応募下さい。
- 搬入日 = 平成25年1月16日(水)、17日(木) 午前10時から午後5時まで
- 搬出日 = 平成25年1月28日(月) 午前10時から午後5時まで
- その他 = 出品は、会員の方に限ります。また、出品者多数の場合は、抽選にて出品者を決定する場合があります。なお、賞はありません。また、出品される方には、可能な範囲で会期中の会場当番のご協力をお願いしております。

平成24年度 第38回総会報告

平成24年度の成安造形短期大学同窓会京の会第38回総会を、平成24年5月19日(土)午前10時30分から、成安造形大学において開催いたしました。

総会においては、平成23年度事業報告をはじめとして、計5つの議案が審議され、いずれも承認されました。詳細につきましては、別刷版「成安造形短期大学同窓会京の会平成24年度第38回総会報告」をご覧ください。

第38回総会議案

- 第1号議案 平成23年度事業報告
- 第2号議案 平成23年度会計決算報告
- 第3号議案 平成23年度会計監査報告
- 第4号議案 平成24年度事業計画案
- 第5号議案 平成24年度予算案

総会終了後、大学内のカフェテリア「結」紀伊國屋に会場を移して、懇親会を開催いたしました。今回の懇親会には、今年度発足した京都成安学園役員・教職員同窓会聚英会から、花山智久会長、伊藤憲太郎幹事、有馬忠広監事、四方功一先生、外田勲先生、また、学校法人京都成安学園の近藤功理事長(本会顧問)をお迎えし、盛大に開催しました。



各種証明書の発行について

卒業証明書や成績証明書など各種証明書のお申込先
大阪成蹊大学 教務部 証明書係
〒533-0007 大阪市東淀川区相川3-10-62
電話番号=06-6829-2538

平成24年度から、申込先が変更となっています。ご注意ください。
※京の会の本部と事務局は、成安造形大学(滋賀県大津市仰木の里東4-3-1)内に置かれ、事務局は総務部門が担当しています。

11 幼稚園レポート

「心豊かな子どもを育てる」「ひとりひとりを大切に」を目標に、はじめての集団生活をのびのび、ほんわかとした成安幼稚園で過ごしている子どもたちは、明るく素直で元気いっぱいです。

厳しい社会情勢の中、ゆっくり・ゆったり心落ち着ける、あたたかくほっこり包み込まれる環境そしてこの美しい日本だからこそ味わえる季節の移り変わりなど、全ての環境が、子どもたちがこれから育っていく上で大きな影響を及ぼすと思います。たくさんの人と触れ合い、たくさんの方の体験をする。その人との触れ合いや体験を通して、人のことを大切に思う気持ち感謝する気持ちを学び、成長して欲しいと願っています。

また、成安造形大学の先生や学生との芸術を通した

ワークショップ、大学キャンパス内での園外保育など、併設校ならではの連携交流が盛んであり、子どもたちの創造性が豊かに育まれています。

保護者の方も子どもたちに負けまいと、とても精力的です。本部役員や幹事の方を中心に日々の保護者会活動はもとより、本の貸し出し・読み聞かせサークル『ホンダーマンさん』など特色ある活動が行われています。また、保護者会のスポーツ活動としてバレーボール部があります。バレーボールは、学園の旧設置校である成安女子高等学校が高校三冠を達成するなど本園にとって最も馴染のスポーツであり、それが園の保護者会で盛んに活動されていることは、90有余年の歴史と伝統の産物かもしれません。今後のさらなる展開に期待しています。



12 成安造形大学同窓会レポート

成安造形大学同窓会「かいつぶり」設立15周年記念行事 びわ湖クルーズ&パーティー

平成24年9月2日(日)、成安造形大学同窓会の設立15周年記念行事「びわ湖クルーズ&パーティ」が、好天にも恵まれ多くの同窓生が参加して開催されました。同窓生とご家族、恩師、来賓など150名余りを乗せた琵琶湖汽船の客船「ビアンカ」は、正午過ぎに大津港を出港。船内では、川満真也同窓会長の開会の挨拶に続いて、近藤功京都成安学園理事長、牛尾郁夫成安造形大学長がご挨拶。また、この日のために駆け付けていただいた来賓の紹介があり、木村至宏前学長の乾杯のご発声によりパーティが始まりました。

船内は懐かしい恩師や友人らとの歓談、記念写真の

撮影、そして互いの家族の紹介など、まるで学生時代にタイムスリップしたかのような時間に包まれていました。船が大学のある雄琴沖にさしかかると、船内から遥か遠くの母校の姿を一目見ようと、卒業生が右舷側の窓に集まっていた姿が印象的でした。午後3時、船は定刻に大津港に帰港、同窓生たちはまたの再開を約して船を後にしました。

(大学同窓会会報「かいつぶり」vol.15は、例年どおり平成25年1月に発行される予定です。)



京の会
さざなみ会
聚英会
大学同窓会会員

の皆様へ
事務局からの
お願い

- お名前やおところの変更、おくやみについてのご連絡をお願いいたします。
- 会員の皆様方からの投稿や情報の提供をお待ちいたしております。同期会、クラス会、展覧会、入選・入賞などの情報をお願いいたします。
- 各会事務局へのご連絡は、「郵便」「電話」「FAX」もしくは「Eメール」にてお願いいたします。ご連絡の際は、お名前、おところ、会員番号を記載して下さい。会員番号は、学園報をお届けしている封筒の宛名ラベルに印字してあります。
- 各会事務局へのご連絡に当たっては、「京の会事務局」「さざなみ会事務局」「聚英会事務局」もしくは「大学同窓会事務局」と明記して下さい。
- 京の会では、使用済み切手を収集し、財団法人日本ユニセフ協会などに送る活動をととして、世界の子供たちを支える取り組みを展開しています。各会会員の皆様のご協力をお願いいたします。

会報の発行形態の変更について

京の会、教育後援会の会報は、今号から発行形態を変更しています。会単独で発行していた従来の形態から、学校法人京都成安学園が発行する学園報に、他の団体の会報とともに合冊する形態に変更しています。このことにより、学園や大学をはじめ他の団体の情報もあわせてお届けすることが出来るようになり、お届けする情報量も格段に増えるとともに、学園全体の活動を皆様方に共有していただけるようになります。会員各位のご理解をよろしく願っています。

事務局連絡先

〒520-0248 滋賀県大津市仰木の里東4-3-1 成安造形大学 総務部門内

TEL=077-574-2111(大学代表) FAX=077-574-2120 E-メール=soumu@seian.ac.jp

京の会=成安造形短期大学同窓会 京の会事務局

さざなみ会=成安造形大学教育後援会OBOG会 さざなみ会事務局

聚英会=京都成安学園役員・教職員同窓会 聚英会事務局

大学同窓会=成安造形大学同窓会 かいつぶり事務局(同窓会専用E-メール=kaitsuburi@seian.ac.jp)

13 学園報発刊にあたって

平成22年に京都成安学園は90周年を迎え、その設置校である成安造形大学は、来年の平成25年に開学20周年を迎えます。20年という年月を長いと見るか短いと見るかは、人それぞれかと思えます。1期生がようやく30歳代後半に入り、近年、卒業生たちが徐々にではありますが顕著な成果を社会で上げ始めています。卒業生たちが成安にとって最大の財産であり、その活動の積み重ねが成安の幹を太く大きくしていくと考えています。その意味では20年という時間はまだ短く、この生き生きとした若木たちが大木の繁る豊かな森へと、成安とともにさらに発展することを期待しています。

大学は20年の節目の年、けれども京都成安学園は90年を超える歴史を誇っています。この歴史は社会にとって胸を張れるものであると確信しています。これまで京都成安学園が歩んできた道のりを振り返りつつ、大学の保護者の会である「教育後援会」、そのOBOG会である「さざなみ会」、成安造形短期大学の同窓会である「京の会」、学園役員・教職員のOBOG会である「聚英会」など、学園を取り巻く皆さまに今の京都成安学園の活動を知っていただこうと、各会報を合冊する形でこの「学園報」を発刊しました。

今回はVOL.0と考えています。是非ご一読いただき、この学園報を通して皆さまが成安を愛するサポーターであり続けて頂けることを願っています。また、この学園報には名前がありません。そのご提案がございましたら下記までメッセージをいただければ幸いです。たくさんのご提案をお待ちしております。

成安造形大学 広報室長
田中真一郎

○名前のご提案はFAX・Eメールにて下記まで

ご連絡先=学校法人京都成安学園 成安造形大学 広報室 FAX=077-574-2120 Eメール=kouhou@seian.ac.jp 締め切り=平成25年3月31日

14 ご寄付のお願い

成安造形大学では、平成22年度に京都成安学園創立90周年記念事業で整備いたしました【キャンパスが美術館】において、春と秋の芸術月間をはじめ多彩な取り組みを行っております。本学では、【キャンパスが美術館】の運営をより一層充実させるため、下記のとおりご寄付をお願いいたしております。皆様方のご協力を心よりお願い申し上げます。

募集期間=平成25年3月31日まで。

募集金額=1口5,000円

〈なお、5,000円未満のご寄付も喜んでお受けいたします。〉

お手続き=最寄りの郵便局から、下記の郵便振替口座へお振り込み下さい。なお、振込用紙の通信欄には、必ず「おところ」、「おなまえ」、「ご連絡先電話番号」をご記入下さい。お書きいただいたおところ宛に、「領収書」と「免税措置に関する書類」をお届けいたします。

加入者名=学校法人京都成安学園

口座番号=00930-8-105398

※誠に恐れ入りますが、払込手数料は、寄付者においてご負担下さい。

免税措置=学校法人京都成安学園は、文部科学省から寄付金の募集に関して、特定公益増進法人であることの証明、および税額控除に係る証明の交付を受けています。ご寄付いただきました金額は、個人または法人の所得から控除され、税法上の優遇措置を受けることができます。

お問い合わせ

ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせ下さい。

学校法人京都成安学園 成安造形大学 総務部門

TEL.077-574-2111〈代表〉 FAX.077-574-2120

学校法人
京都成安学園

成安造形大学

【 】

SEIAN UNIVERSITY OF ART AND DESIGN

京都成安学園の発祥と学祖

京都成安学園は、大正9(1920)年、学祖 瀬尾チカ先生が京都市に「成安裁縫学校」を設立したことを発祥としています。
以来、今日まで、設置したすべての学校に、建学の精神である「成安」という名称を冠しています。

京都成安学園 建学の精神 「成安」

京都成安学園 建学の精神、その由来は「成安」の名にこそある。

「成」とは、成し遂げること。「安」とは、安寧であること。

つまり「成安」とは人の和を大切に、一人ひとりが自己の使命を追求し、全うし続けることを通じて、

心安らぐ平和な社会をつくることに貢献するという意味である。

京都成安学園 校訓—学祖のこゝば 「誠と熱」

「誠と熱」とは、学祖・瀬尾チカが強い信念と行動力で人生を切り拓いた自らへの証であると同時に、

真摯さを失わず、弱者への想いを抱き続けるという誓いの言葉である。

さらにこの言葉は、成安に集う者たちの心をひとつにする学園の訓でありながら、

それぞれの人生の長きを、正しく強く生きぬく力を授けてくれる。そしてその力こそが、学園のみならず広く社会を豊かにするのだと。

設置する学校

成安造形大学

基本理念(教育理念)＝「芸術による社会への貢献」

学部・学科＝芸術学部芸術学科

開設＝平成5年

所在地＝滋賀県大津市仰木の里東四丁目3番1号(〒520-0248)

定員＝905名

成安幼稚園

教育目標＝「心豊かな子どもを育てる」

開設＝昭和50年

所在地＝京都府向日市寺戸町八反田32番1号(〒617-0002)

定員＝314名

京都成安学園 学園報 #00 創刊号 2012年9月26日 発行

発行＝学校法人京都成安学園 成安造形大学 広報室

〒520-0248 滋賀県大津市仰木の里東4-3-1

TEL＝077 574 2111(代) FAX＝077 574 2120 E-メール＝kouhou@seian.ac.jp

URL＝www.seian.ac.jp ※本学のWEBサイトがリニューアルしました。ぜひご覧下さい。

デザイン・編集＝PULSE (2007年グラフィックデザインクラス卒業)